

「JAの自己改革に関する組合員調査」 最終集計結果



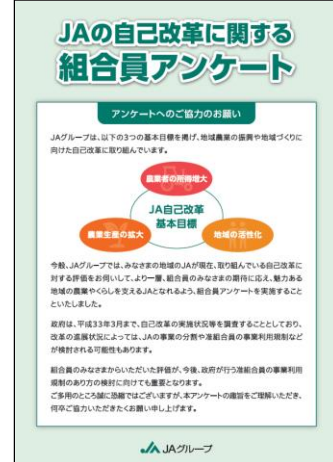
令和 2 年 7 月
全国農業協同組合中央会

「JAの自己改革に関する組合員調査」の概要について

- JAグループでは、①JAグループ自ら、自己改革への評価などに関する正・准組合員の意思を的確に把握し、②正・准組合員の対話強化の契機とするため、「JAの自己改革に関する組合員調査」を実施。
- 本集計は、令和2年4月10日までに回収された原票について集計を実施したもので、調査期間全体を通じて、**有効回答件数は3,902,603件となった。**
- 各JAにて調査対象とした組合員数は約606万人であり、これに対する回収率は、**正組合員70.3%、准組合員58.1%、組合員全体では64.4%となった。**

【調査の概要 (平成30年8月8日 JA全中 理事会決定)】

- 1. 調査目的：
 - ① JAグループ自ら、自己改革への評価などに関する正・准組合員の意思を的確に把握する。
 - ② 正・准組合員の対話強化の契機とし、正・准組合員との一層の関係強化に取り組む。
- 2. 調査実施期間：平成30年12月～令和元年12月
- 3. 調査対象者：原則として、全ての正・准組合員
- 4. 調査手法：原則として、JA役職員の訪問・対面による調査票の配布・回収



【配布・回収概要】

調査期間全体を通じての調査対象組合員数等(JA申告に基づく)

調査実施規模：6,862,705人 脱退・居所不明等の調査対象外組合員：823,706人
調査対象組合員6,059,417人 (正組合員：2,977,461人、准組合員：3,081,956人)

回収件数(有効回答ベース)

3,902,603件 (正組合員：2,092,127件、准組合員：1,790,179件、無回答：20,297件)

回収率(有効回答ベース)

正組合員 70.3% 准組合員 58.1% 組合員全体 64.4%

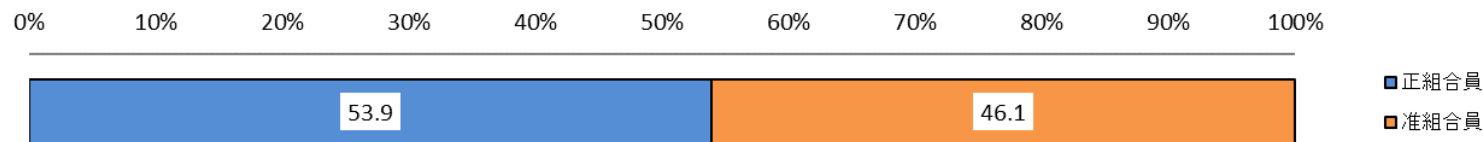
回答者の属性

○ 回答者の属性は、正組合員が2,092,127人(正・准組合員比53.9%)、准組合員が1,790,179人(同46.1%)となった。認定農業者は、318,402人(回答件数比8.2%)であった。(注1)

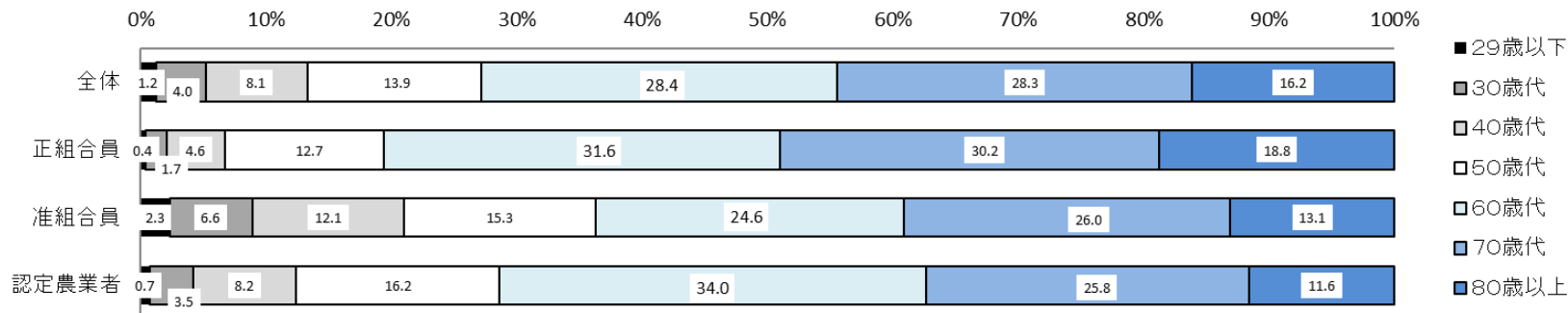
○ 平均年齢は、全体で66.4歳、正組合員で68.9歳、准組合員で63.4歳、認定農業者は65.3歳であった。

(注1)認定農業者は、認定農業者と同一世帯の構成員である組合員や、認定農業者である農業生産法人の役員・従業員等である組合員を一部含んでいる。

組合員資格



年齢別分布

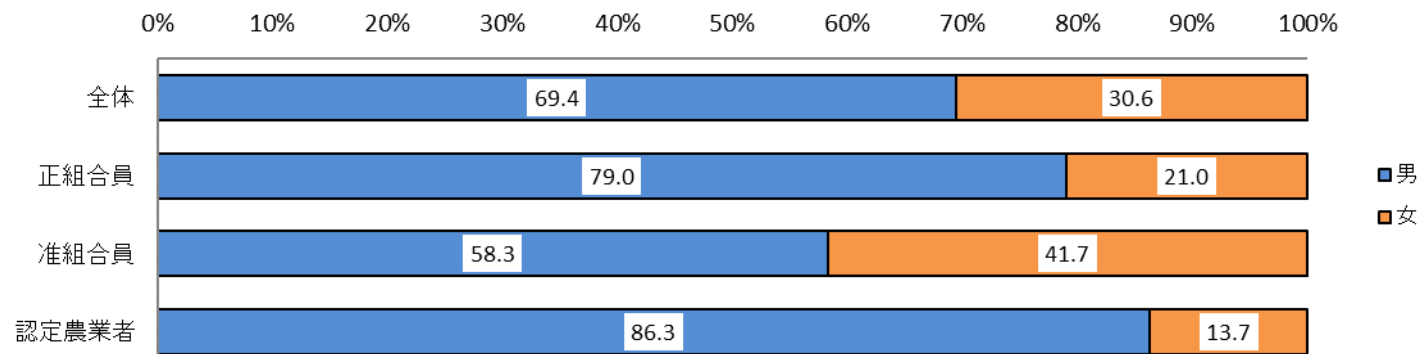


平均年齢

全体 66.4歳
 正組合員 68.9歳
 准組合員 63.4歳
 認定農業者 65.3歳

(※)平均年齢は、各年代の中間値を用いた算出による。

性別分布



男性割合

全体 69.4%
 正組合員 79.0%
 准組合員 58.3%
 認定農業者 86.3%

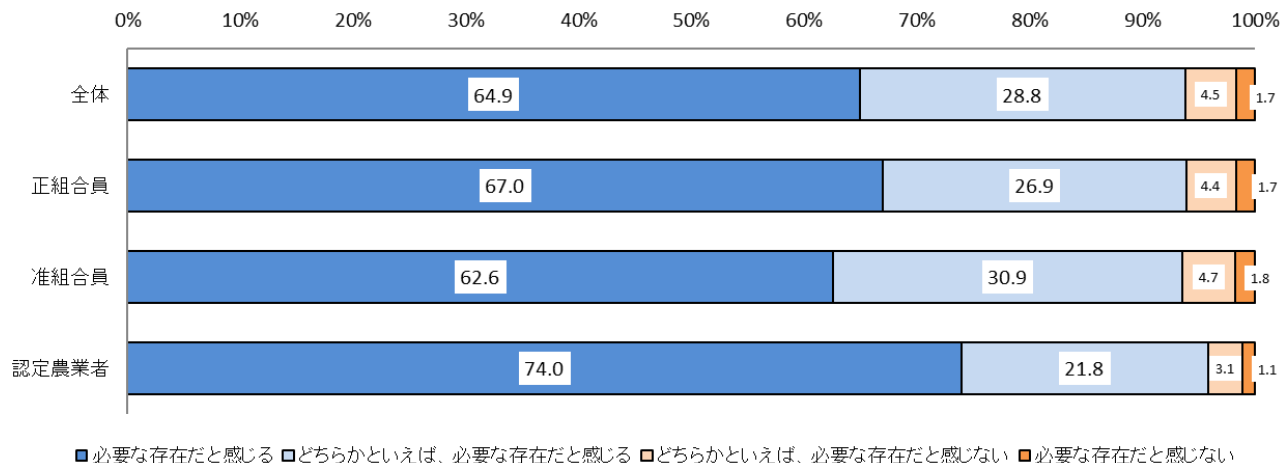
(※)男性の占める割合

調査結果①: JAの必要性、総合事業の継続

○ 「JAの必要性」について、正組合員では93.9%、准組合員では93.5%が「必要な存在」「どちらかといえば、必要な存在」と回答した。また、認定農業者では、74.0%が「必要な存在」と回答し、「どちらかといえば、必要な存在」と回答した割合を加えると95.8%に上る。

○ 「JAの総合事業の継続」について、正組合員では91.0%、准組合員では92.7%が「総合事業は継続すべき」「どちらかといえば、総合事業は継続すべき」と回答した。

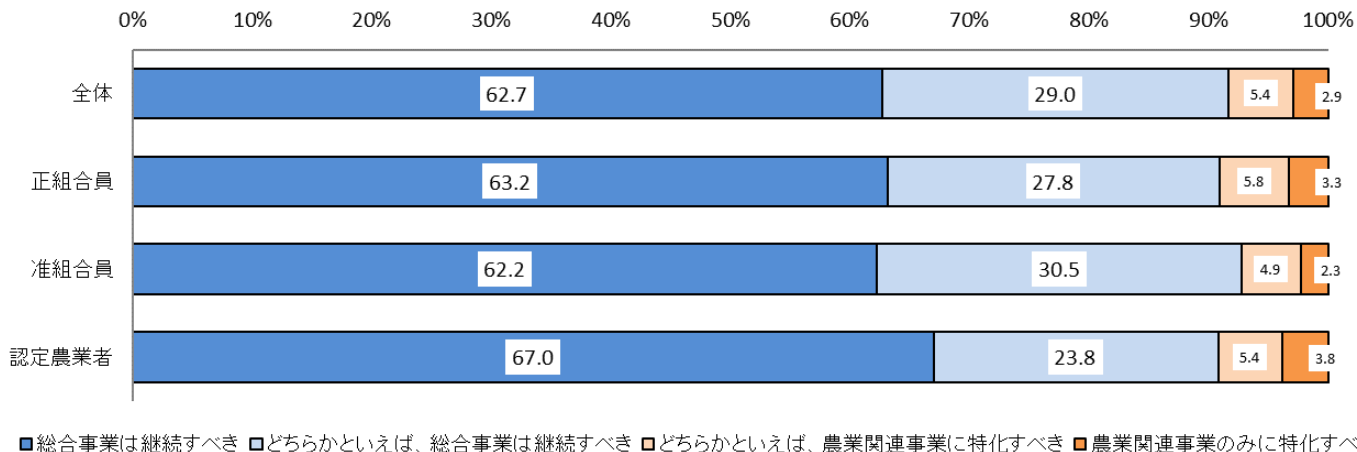
問1B: JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だとお感じになりますか？



肯定的回答割合

全体 93.7%
 正組合員 93.9%
 准組合員 93.5%
 認定農業者 95.8%

問1C: JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？



肯定的回答割合

全体 91.7%
 正組合員 91.0%
 准組合員 92.7%
 認定農業者 90.8%

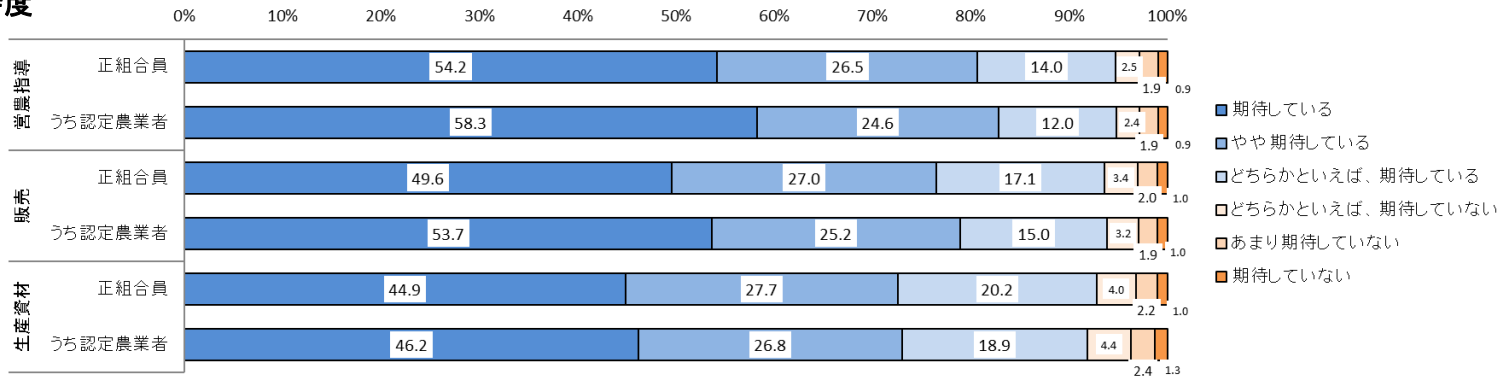
調査結果②：営農関連事業への期待度・満足度

- 期待度は、全ての事業において、正組合員全体で、約7～8割が「期待」「やや期待」と回答した。また、「どちらかといえば、期待」を加えると、約9割となっている。
- 満足度は、全ての事業において、正組合員全体で、約6割が「満足」「やや満足」と回答した。また、「どちらかといえば、満足」を加えると、約8割となっている。
- 認定農業者を正組合員全体と比較すると、営農指導事業では2.2ポイント、農畜産物販売事業では2.3ポイント、それぞれ「期待」「やや期待」の割合が、正組合員全体を上回った。
- 一方、生産資材購買事業では、「満足」「やや満足」の割合は、正組合員全体を2.9ポイント下回る。

問2：JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

1. 営農指導事業 2. 農畜産物販売事業 3. 生産資材購買事業 それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

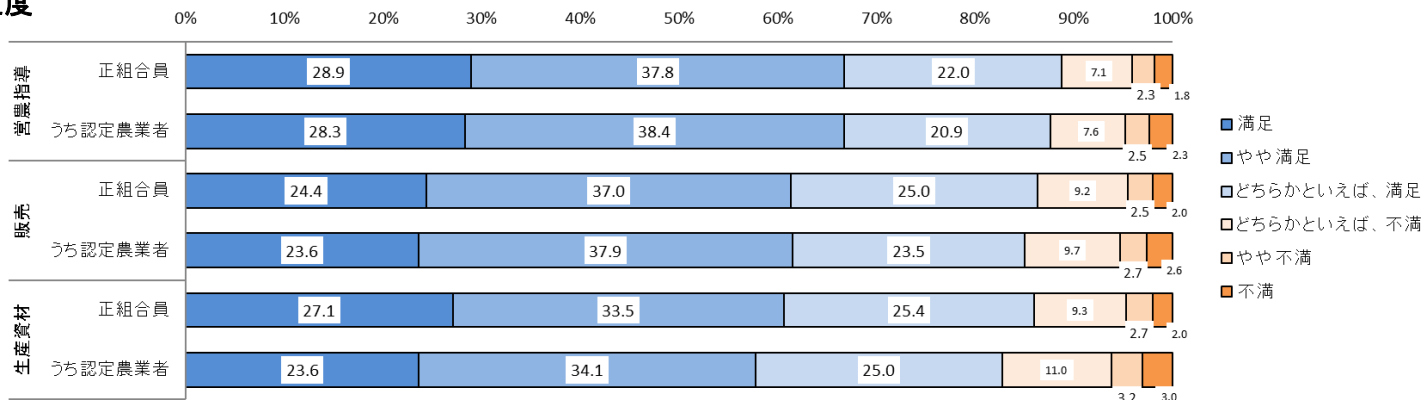
期待度



肯定的回答割合

正組合員 72.6～80.7%
認定農業者 73.0～82.9%

満足度



肯定的回答割合

正組合員 60.6～66.7%
認定農業者 57.7～66.7%

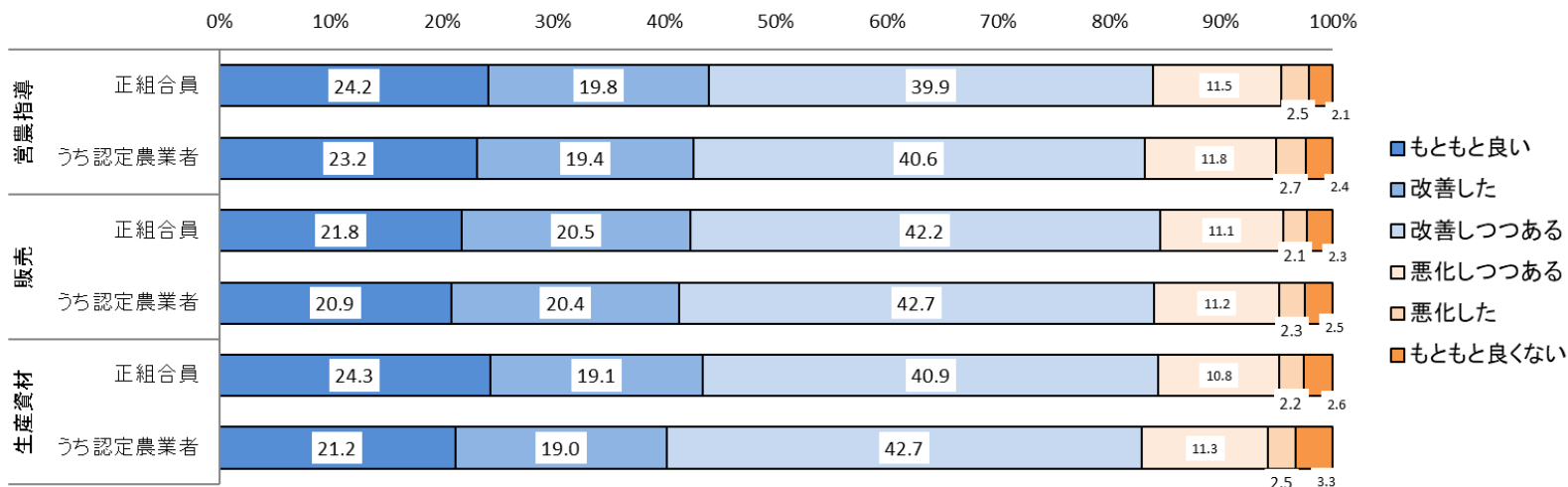
調査結果③: 営農関連事業の改善度

- 改善度では、全ての事業において、正組合員全体で、約6割が「改善した」「改善しつつある」、約2割が「もともと良い」と回答した。
- 認定農業者を正組合員全体と比較すると、いずれの事業についても、「もともと良い」の割合は、正組合員全体比で0.9～3.1ポイント下回る一方で、「改善した」「改善しつつある」の割合は、0.3～1.7ポイント上回る。

問2: JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

1. 営農指導事業 2. 農畜産物販売事業 3. 生産資材購買事業 それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

改善度 (調査時により3年前との比較)



肯定的回答割合

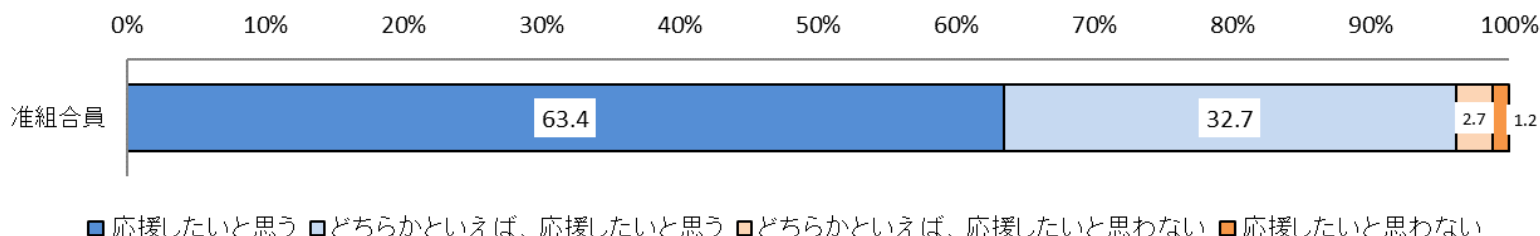
正組合員 83.9～84.5%
認定農業者 82.9～84.0%

調査結果④: JAの地域農業の振興や地域づくりの応援、准組合員の事業の利用の制限

○ JAの地域農業の振興や地域づくり活動について、准組合員の96.1%が「応援したい」、「どちらかといえば、応援したい」と回答した。

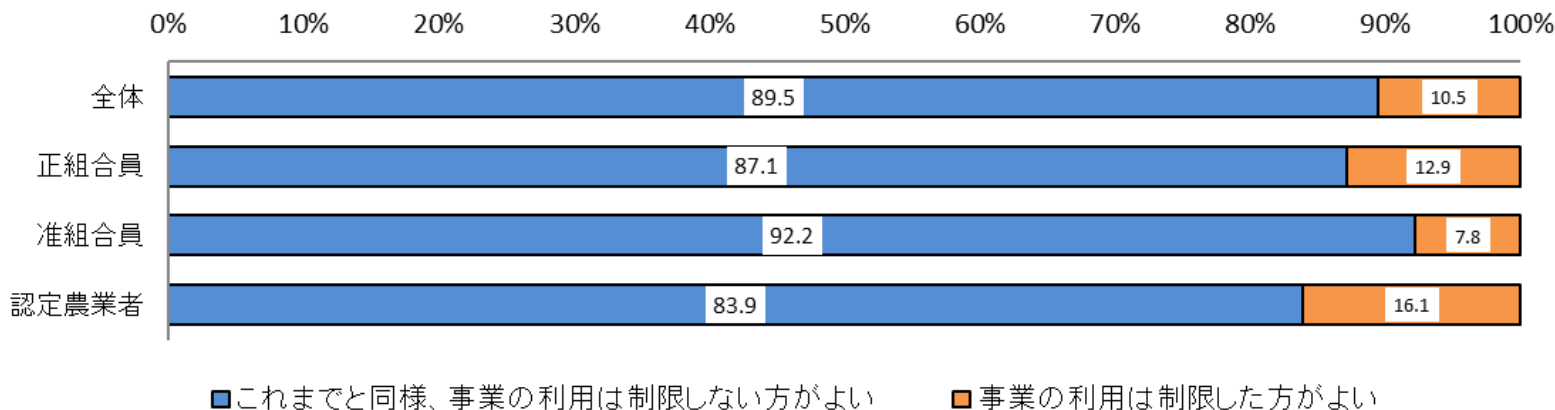
○ 准組合員の事業の利用の制限について、正組合員の87.1%、准組合員の92.2%が「制限しない方がよい」と回答した。

問4A: JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることで、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いますか？



肯定的回答割合
准組合員 96.1%

問4D: 准組合員がJA事業の利用を制限されることについてどうお考えですか？



肯定的回答割合
全体 89.5%
正組合員 87.1%
准組合員 92.2%
認定農業者 83.9%

下記の設問を読み、回答用紙にご記入ください。
正組合員の方は **正組合員**、准組合員の方は **准組合員** のマークがある設問についてご回答ください。

あなたご自身について **正組合員** **准組合員**

(1) 組合員属性

- ① 正組合員 ② 准組合員

(2) 年代

- ① 29歳以下 ② 30歳代 ③ 40歳代 ④ 50歳代
⑤ 60歳代 ⑥ 70歳代 ⑦ 80歳以上

(3) 性別

- ① 男 ② 女

(4) 農畜産物販売金額(過去1年間・税込)

- ① なし ② 100万円未満
③ 100万円～300万円未満 ④ 300万円～1000万円未満
⑤ 1000万円以上

(5) 認定農業者

- ① 認定農業者である
② 認定農業者でない

※この設問は個人を特定するものではありません。

問1 JAの総合事業 **正組合員** **准組合員**

A あなたはJAの事業を利用したことがありますか？

- ① ある
② ない

B JAは地域農業や暮らしにとって必要な存在だと感じになりますか？

- ① 必要な存在だと感じる
② どちらかといえば、必要な存在だと感じる
③ どちらかといえば、必要な存在だと感じない
④ 必要な存在だと感じない

C JAは、農業関連事業や、信用事業・共済事業など、様々な事業を行っています。
このJAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？

- ① 農業関連事業や、信用事業・共済事業などを行っている、総合事業は継続すべき
② どちらかといえば、総合事業は継続すべき
③ どちらかといえば、信用事業・共済事業などはやめて、農業関連事業のみに特化すべき
④ 信用事業・共済事業などはやめて、農業関連事業のみに特化すべき

問2 農業関連事業

正組合員

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる分野を最重点として、下記の3つの事業を中心に拡充・強化することとしています。

- 1 営農指導事業
- 2 農畜産物販売事業
- 3 生産資材購買事業

それぞれの事業について、あてはまるものを1つ選んでください。

1 営農指導事業(農業の栽培技術指導や経営支援など)

A 利用状況(過去1年間)

- ① 利用あり(生産部会、圃場などで、農業について相談したり、巡回を受けたりした) ⇒以下のB、C、Dをご回答ください
- ② 利用なし ⇒「問2 2 農畜産物販売事業」へ

B 期待度(現状への満足度に関わらず、しっかり取り組んでほしいとお考えの程度)

- ① 期待している
- ② やや期待している
- ③ どちらかといえば、期待している
- ④ どちらかといえば、期待していない
- ⑤ あまり期待していない
- ⑥ 期待していない

C 満足度

- ① 満足
- ② やや満足
- ③ どちらかといえば、満足
- ④ どちらかといえば、不満
- ⑤ やや不満
- ⑥ 不満

D 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？

- ① もともと良い
- ② 改善した
- ③ 改善しつつある
- ④ 悪化しつつある
- ⑤ 悪化した
- ⑥ もともと良くない

2 農畜産物販売事業(農畜産物の販売など)

A 利用状況(過去1年間)

- ① 利用あり ⇒以下のB、C、Dをご回答ください
- ② 利用なし ⇒「問2 3 生産資材購買事業」へ

B 期待度(現状への満足度に関わらず、しっかり取り組んでほしいとお考えの程度)

- ① 期待している
- ② やや期待している
- ③ どちらかといえば、期待している
- ④ どちらかといえば、期待していない
- ⑤ あまり期待していない
- ⑥ 期待していない

C 満足度

- ① 満足
- ② やや満足
- ③ どちらかといえば、満足
- ④ どちらかといえば、不満
- ⑤ やや不満
- ⑥ 不満

D 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？

- ① もともと良い
- ② 改善した
- ③ 改善しつつある
- ④ 悪化しつつある
- ⑤ 悪化した
- ⑥ もともと良くない

3 生産資材購買事業(肥料や農機具等の販売など)

A 利用状況(過去1年間)

- ① 利用あり →以下のB、C、Dをご回答ください
- ② 利用なし →問3へお進みください

B 期待度(現状への満足度に関わらず、しっかり取り組んでほしいとお考えの程度)

- ① 期待している
- ② やや期待している
- ③ どちらかといえば、期待している
- ④ どちらかといえば、期待していない
- ⑤ あまり期待していない
- ⑥ 期待していない

C 満足度

- ① 満足
- ② やや満足
- ③ どちらかといえば、満足
- ④ どちらかといえば、不満
- ⑤ やや不満
- ⑥ 不満

D 3年前と比べて、利便性、サービス、メリットなど事業内容がどう変わりましたか？

- ① もともと良い
- ② 改善した
- ③ 改善しつつある
- ④ 悪化しつつある
- ⑤ 悪化した
- ⑥ もともと良くない

問3 自己改革の認知度 正組合員 准組合員

あなたのJAは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」などを目標とした自己改革に取り組んでいます。こうしたJAの取り組みをご存知ですか？

(複数回答可)

- ① 総(代)会、集落座談会、生産部会の会合などで知った
- ② パンフレット、広報誌、新聞、テレビ、ホームページなどで知った
- ③ イベント(JAまつり、ローン相談会など)やファーマーズマーケットで知った
- ④ JAの役職員から直接聞いて知った
- ⑤ そのほかの方法で知った
- ⑥ 知らなかった

問4 准組合員制度

准組合員

A JAの事業を利用したり、地域の農畜産物を食べることに、農業体験などを通じて、JAの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いませんか？

- ① 応援したいと思う
- ② どちらかといえば、応援したいと思う
- ③ どちらかといえば、応援したいと思わない
- ④ 応援したいと思わない

正組合員

B 准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)にとっても必要だと思いませんか？

- ① 正組合員(農業者)にとっても必要だと思う
- ② どちらかといえば、正組合員(農業者)にとっても必要だと思う
- ③ どちらかといえば、正組合員(農業者)にとって不要だと思う
- ④ 正組合員(農業者)にとって不要だと思う

正組合員

C 准組合員のJA事業利用は、正組合員(農業者)が利用する農業関連事業の改善を阻害していると思いませんか？

- ① 阻害しているとは思わない
- ② どちらかといえば、阻害しているとは思わない
- ③ どちらかといえば、阻害していると思う
- ④ 阻害していると思う

正組合員

准組合員

D 准組合員のJA事業の利用が制限されることについてどうお考えですか？

- ① これまでと同様、事業の利用は制限しない方がよい
- ② 事業の利用は制限した方がよい

ご協力ありがとうございました。